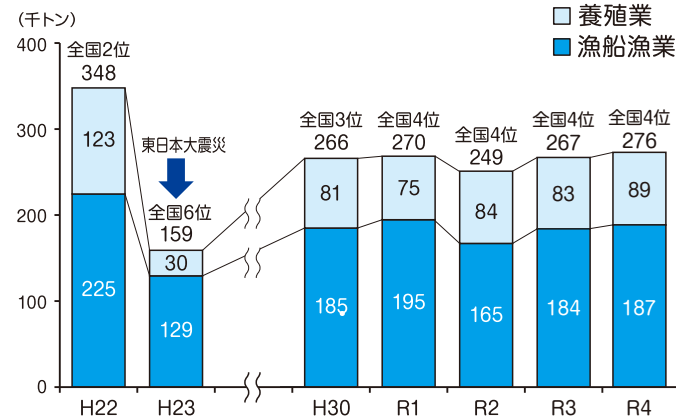


2 宮城の水産業の現状

宮城県の漁業生産量は、東日本大震災前の平成22年までは北海道に次ぐ全国第2位、漁業産出額は全国第5位を誇っていました。震災により漁業生産は大きく落ち込みましたが、復旧・復興が進み、令和4年の漁業生産量は全国第4位、漁業産出額は第4位となっています。

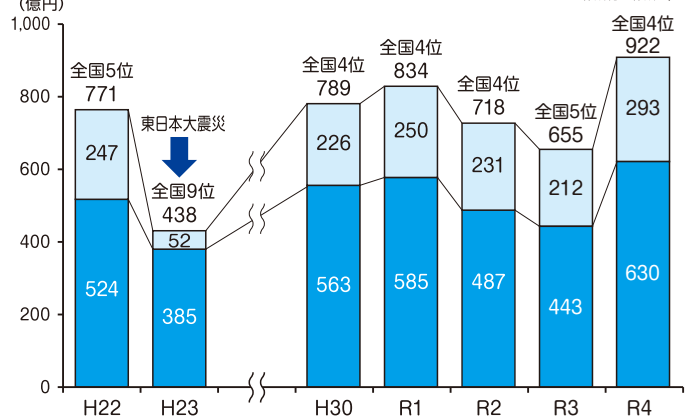
近年、サンマなどの冷水性魚種の水揚量が減少する一方で、ガザミなど震災後に水揚量が増加した魚種もあり、海洋環境の変化などにより水揚魚種の変化が見られています。

■漁業生産量の推移と全国順位



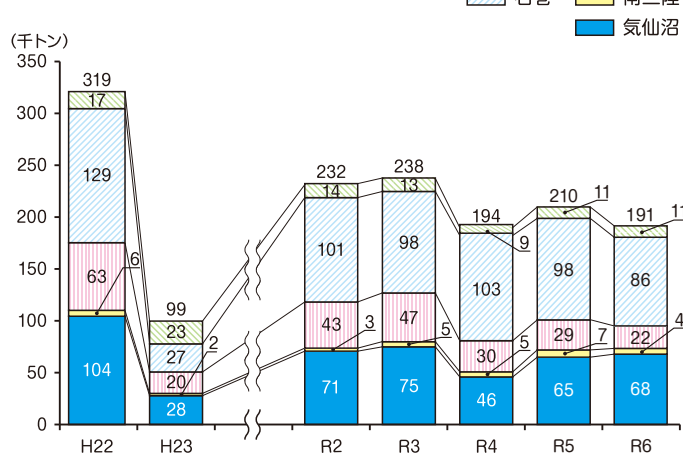
出典：漁業・養殖業生産統計年報（農林水産省）

■漁業産出額の推移と全国順位



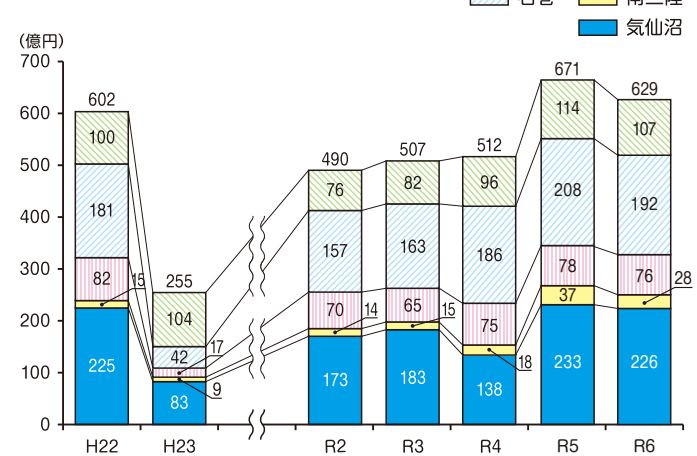
出典：漁業産出額年報（農林水産省）

■主要魚市場の水揚数量



出典：水産物水揚統計（宮城県）

■主要魚市場の水揚金額



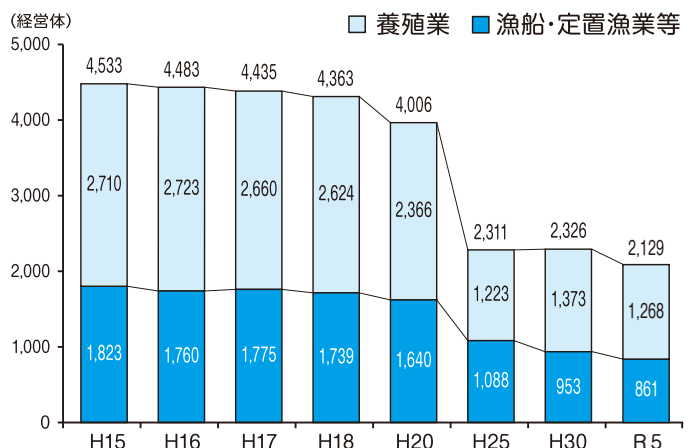
出典：水産物水揚統計（宮城県）

■主な魚類の生産状況

区分		平成22年	平成23年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	全国順位	
									平成22年	令和4年
主な漁船漁業漁獲物	まぐろ類	21,860	19,489	19,208	22,062	22,380	18,303	19,600	第2位	第1位
	かじき類	3,634	2,879	3,232	2,942	3,338	2,543	1,991	第1位	第1位
	かつお	28,485	24,944	31,291	32,045	24,870	30,658	33,326	第3位	第2位
	さめ類	17,924	10,373	15,167	11,731	10,241	10,633	11,545	第1位	第1位
	さんま	28,188	29,676	18,078	5,973	3,675	2,341	2,044	第2位	第3位
	ひらめ	344	288	819	894	724	585	733	第7位	第2位
	かれい類	1,521	887	3,380	1,609	1,004	788	909	第10位	第6位
	たら類	15,148	4,960	4,508	5,003	3,673	5,650	9,073	第3位	第4位
	いかなご	4,015	3	976	68	0	0	36	第6位	第5位
	あなご類	220	119	556	316	229	199	180	第9位	第3位
	いか類	15,591	10,907	4,475	3,459	5,045	3,214	2,358	第4位	第8位
	がざみ類	2	9	747	334	337	357	225	第32位	第2位
主な養殖業漁獲物	おきあみ類	18,463	—	2,317	9,816	460	1,489	5,712	第2位	第1位
	あわび類	141	104	78	55	63	74	90	第2位	第2位
	うに類	744	102	460	472	540	594	568	第2位	第3位

出典：漁業・養殖業生産統計年報（農林水産省）

■宮城県の漁業経営体数の推移



出典：宮城県農林水産統計年報（宮城県）及び漁業センサス（農林水産省）